



令和7年度 東京都北区立王子桜中学校

令和8年3月特別号

# 王子桜だより

校長 阿久津 光生

〒114-0002

東京都北区王子2-7-1

Tel 03-5902-3155

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

教育目標 **自主 創造 飛翔**

## 《イギリスの教育学者マーク氏と福田教育長様、関係者10名が来校されました。》



2月19日(木)イギリスの有名な教育学者マーク氏と北区教育委員会教育長の福田先生、関係者の方々10名が来校されました。小学校を見学した後、中学校の図書館を見て音楽室の前を通りましたら1年生がアルトリコーダーを吹く音色がしました。突如立ち寄りさせていただきましたが、全員がアルトリコーダーで、きれいな音色を奏でてくれました。先生と生徒のみなさん、歓迎ムードにいただき本当にありがとうございました。続いて3年生の英語の教室を見学させていただきました。都立入試に向けた最後の追い込みに、各自の課題に真剣に取り組んでいました。体育館では、2年生が王桜演舞の練習をグループで対話をしながら何度も何度も確認して真剣に練習をしている姿がとても素晴らしく、感心しておりました。来年度の体育祭がとっても楽しみです。そして2年生の英語の授業を見せていただきました。グループごとに英語で発表をしてくれました。ICTをフル活用し、クラスで1番人気のコンビニ、動物、ディズニーキャラクター等々を、データ集計をして、分かりやすく楽しく、わくわくするようなアクティビティが英語で行われとっても素敵な授業でした。クラスみんなで発表会を盛り上げようとしている生徒のみなさんの素晴らしさと先生の英語の指導力の高さを改めて感じました。

その後の研究会でも、イギリスの有名な教育学者のマークさんも、福田教育長先生も関係者の皆さまからも褒めの言葉をいただき、先生方、生徒のみなさんの温かい雰囲気感激して本校を後にしました。

## 《1年生 体育 ダンス発表会が行われました！》

2月20日(金)1年生の体育でダンス発表会が行われました！生徒による司会進行で始まり各班のダンスリーダーが見どころを紹介し、いよいよダンスパフォーマンスの始まり！グループごとに創作したダンスをしっかりとマスターして表情豊かにリズムカルに踊っていて、真剣さも伝わってきて、とても素晴らしかったです！鑑賞する生徒のみなさんからも、自然と手拍子や拍手があり、他のグループをリスペクトする気持ちも伝わってきて、とっても素敵な授業でした！



## 《王子警察署・北区危機管理室による自転車のルール・北区条例について講演会を行いました！》

2月26日(水)王子警察署交通課交通総務係 係長 武田様と北区危機管理室生活安全担当課 課長 根本様をお迎えして、①加害者・被害者にならないために、自転車の乗り方や信号の渡り方などについて、②中学生が今後の生活で知っておくべき、北区条例の変更した内容について学び、大変有意義な時間となりました。武田様、根本様本当にありがとうございました。



## 《2年生ビブリオバトルを開催しました！》

3月3日(火) 2年生が体育館でビブリオバトルを行いました。ビブリオバトルは、発表者が面白いと思った本を、1人3分間(王桜ルール)で紹介し、参加者全員で「どの本が一番読みたくなったか?」を基準に投票して「チャンプ本」を決める、ゲーム的要素を取り入れた知的な書評合戦です。まず、クラスごとにビブリオバトルを行いました。そして、各クラスの代表のみなさんが、自分が1番おすすめしたい本の紹介をしてくれました。1組田中(夢)さん「アルジャーノンに花束を」、2組渡邊(蔵)さん「僕たちの箱根駅伝」、3組藤巻さん「消された一家」、4組川木さん「君たちは今が世界(すべて)」、5組須子さん「一次元の挿し木」、以上5名のみなさんによるビブリオバトルです。バトラーのみなさんは、わかりやすく本の内容の説明し、読むことをお勧めしたい理由等を力強く、堂々と話していました。また、たくさんの質問にも的確に返答していて素晴らしいかったです。最後に Google Form で投票をしました。投票の結果、チャンプ本は、1組の田中(夢)さんの紹介した「アルジャーノンに花束を」に決定しました。田中さんおめでとうございます。なお、みなさんには事務補助員の右高さんが作ってくださった素敵なメダルが授与されました。みなさん、おめでとうございます。2年生ももうすぐ最上級生になる準備がしっかりできていて、大変落ち着いていて、文化的な行事に向かう姿も素晴らしいなあと改めて感じました。ビブリオバトルの運営にあたってくれた国語係のみなさん、学年の先生方に感謝いたします。とても素敵なビブリオバトルを見せていただきありがとうございました！



## 《海外派遣報告会を行いました！》

3月4日(水) 体育館で海外派遣報告会を行いました。セブンヒルズスクール(アメリカ カリフォルニア州 ウォールナットクリーク市)に昨年11月11~21日まで海外派遣生として行ってこられた田中(夢)さん、原田さん、亀田さん、川畑さん、ト部さんが、1、2年生に向けて成果報告会を行ってくれました。セブンヒルズスクールで学習したこと、ホームステイ先、観光、習慣・文化の違い、食事等、生徒のみなさんが興味のあることをとっても分かりやすく説明してくれました。更に、派遣生のみなさんが、この海外派遣を通して、今までの自分と何が変わったか、どんな教訓を得たのかなど、大変意義深い発表をしてくれました。1、2年生のたくさんのみなさんが質問をしてくれたおかげでよりたくさんのことを学ぶことができました。来年度、派遣生として渡米したいと思った1年生もたくさんいたことでしょう。素敵な発表会をありがとうございました。



## 《2年生アントレプレナーシップ教育～学生起業家による特別講演～が行われました！》

3月6日(金) 本校が研究を進めているアントレプレナーシップ教育の一貫として、未来を作る学生～学生起業家の特別講演が行われました。

Challase 株式会社 代表取締役 CEO 則竹 様

Challase 株式会社 執行役員 COO 濱野 様による講演やワークショップ、質疑応答を行いました。

最後に2年生代表としてザイダンさんから謝辞を述べていただきました。年齢の近い学生起業家による体験談に触れることで、自己のキャリア形成に対する意欲を高め、失敗を恐れずに挑戦する力の育成を図ること、生徒にとって身近なロールモデルである学生起業家との対話を通じ、多様な生き方や働き方があることを知り、社会の課題を自らのこととして捉え、主体的に解決しようとする態度を養うことが出来ました。卒業生の小内様のご紹介でこのような貴重な体験をさせていただきましたことに深く感謝申し上げます。



## 《3年生 東京ディズニーシーへ行って来ました！》

3月6日（金）3年生が卒業遠足で東京ディズニーシーに行ってきました！

午前7時から北とぴあ前でグループごとにチェックを受けて、王子駅から電車で行って来ました。

19日（木）の卒業式を前に、楽しい思い出がたくさんできましたね！



## 《王子東児童館から本校屋上菜園に 16 名の方々が来てくださいました！》

3月10日（火）15：50から屋上菜園で、本校園芸ボランティア部の生徒のみなさん、お手伝いのみなさん、王子東児童館から来ていただいた親子7組16名のみなさんが、じゃがいもの植え付けをしてくださいました。小さなお子さんに種芋を土の中に入れるときに、優しく丁寧に説明をして一緒に植えてくださっている姿がとっても微笑ましい光景でした。6月の収穫が楽しみです！



## 《アントレプレナーシップ教育 校内研修会を行いました！》

3月11日（水）アントレプレナーシップ教育 校内研修会を行いました。講演『「指示待ち人間」にならず、自ら価値創造する人になる方法』と題して、講師に茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校校長 生井秀一先生をお迎えして先生方のためのアントレプレナーシップ教育の校内研修会を行いました。生井校長先生は、『13歳からのアントレプレナーシップ教育』の著者として大変有名な先生です。生井校長先生は、花王株式会社でDX戦略・EC部門の部長を務めた後、2023年4月に茨城県の公立中高一貫校（下妻第一高校・附属中）の校長に公募で就任した民間出身の教育者です。花王では社長表彰を3度受賞し、MBAも保有。吉本興業に文化人としても所属してラジオパーソナリティを勤めておられます。校長先生として勤務しながら、全国各地から講演依頼がある大変お忙しい先生ではありますが、今回、王子桜中のアントレプレナーシップ教育の立ち上げのためにわざわざ本校に来てくださり、大変造詣の深いお話を、とってもわかりやすくご教示いただきました。本当にありがとうございました。福田教育長先生をはじめ、本校を支援して下さる民間企業・私学のスペシャリストの外部関係者の方にもお越しいただきまして本当にありがとうございました。王子桜中でも、VUCA（変動・不確実・複雑・曖昧）時代を生き抜くために、変化をリスクではなくチャンスとして捉え、常識に縛られない柔軟性、自己変革を続ける学習意欲がもてる生徒の育成に励んでまいります。



## 《吹奏楽部 卒業演奏会 ♪ が行われました！》

3月14日（土）13：30より、吹奏楽部の卒業演奏会 ♪ が体育館で行われました。

プログラムは、①管楽器と打楽器のためのセレブレーション、②Paradise Has No Border

③嵐メドレー、④ODE for Trumpet、⑤元禄、⑥正解、⑦ヨークシャーバラード、⑧僕らまた

⑨リベラアニマス（今年度東京都吹奏楽コンクールゴールド金賞受賞）、⑩オーメンズ・オブ・ラブ

卒業演奏会には、およそ200名の方にお越しいただきました。卒業式を控えた3年生も加わり、全員での演奏会。3年生への感謝の気持ちと後輩たちへの温かい思い、佐々木先生をはじめ、ご指導にあたってくださった先生方、演奏会に来てくださった方々への感謝の気持ち。全ての思いが込められた素晴らしい演奏で感無量の思いでした。卒業生のみなさんの未来に幸多からんことを心よりお祈りいたします。



## 《ゴミゼロ運動 77人も参加してくれました。ありがとうございました！》

3月16日（月）放課後、園芸ボランティア部のみなさんや、各学年、学級から募った有志のみなさんが、なんと77名もゴミゼロ運動に参加してくださいました。卒業式を控えて、ゴミゼロを目指して帚やちり取り等を使用して一生懸命掃除や雑草取りをしてくださいました。卒業式には王子街道がとても綺麗になり、訪れる人を綺麗なお花と行き届いた環境でお迎えしようというおもてなしの心に、王桜の素晴らしさを改めて感じました。ボランティア活動をしていただいた生徒のみなさん、園芸ボランティアスタッフのみなさん、担当していただいた先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 《卒業式予行後、3年生の各種表彰を行いました。》

3月17日（火）卒業式予行後、3年生の各種表彰を行いました。受賞おめでとうございます。

東京都優良卒業生 中村（優）さん ・ 藤原（夏）さん

東京都体育優良生徒 大竹さん ・ 桔梗さん

東京都体育努力生徒 福本さん

北区保健優良生徒 三田村さん ・ 片根さん



## 《祝 男子バスケ部城北カップ優勝おめでとうございます！》

3月14日（土）男子バスケットボール部は、港区立白金の丘学園中学校で開催された城北カップ大会で、筑波大学附属中学、港区立高陵中学、足立区立伊興中学、王子桜のブロックで筑波大附属中学と伊興中学に勝ち、見事に優勝を果たしました。本当におめでとうございます！また、2年生のカーマウンさんが優秀選手賞に選ばれました。おめでとうございます。



## 《祝 2年生根立さん 北区はばたき賞おめでとうございます！》

2年生根立さんが北区子どもかがやき顕彰（北区はばたき賞）を受賞しました。おめでとうございます。

はばたき賞は、文化・スポーツ等に特に優秀な成績を収めた児童・生徒に送られ、根立さんはダブルダッチで数々の世界大会でも活躍されています。修了式に、表彰させていただきます。



## 《科学部 東京成徳大学高校天文学部のみなさんと一緒に星の観察等を行いました！》



3月21日（土）本校卒業生の小林さんが部長を務める東京成徳大学高等学校天文部に、本校科学部のみなさんが訪問しました。プラネタリウムでは、部長の小林さんからとってもわかりやすい解説を聞きながら星座をながめ、非日常感を楽しめて、心もリフレッシュされながら学ぶことができました。その後、巨大プラネタリウムの操縦までさせていただき、貴重な体験となりました。更に、屋上から全員で天体観測をさせていただきました。

天候は観測には最高の条件で、金星や木星、オリオン大星雲まで観測できました。夜空を見上げながら大宇宙の神秘とロマンを感じることができた素敵な夜になりました。天文部顧問の岡安先生をはじめ、天文部のみなさんが優しく丁寧に中学生に教えていただきまして本当にありがとうございました。またこのような機会をつくってくださったスクールコーディネーターの皆さまに改めて感謝申し上げます。

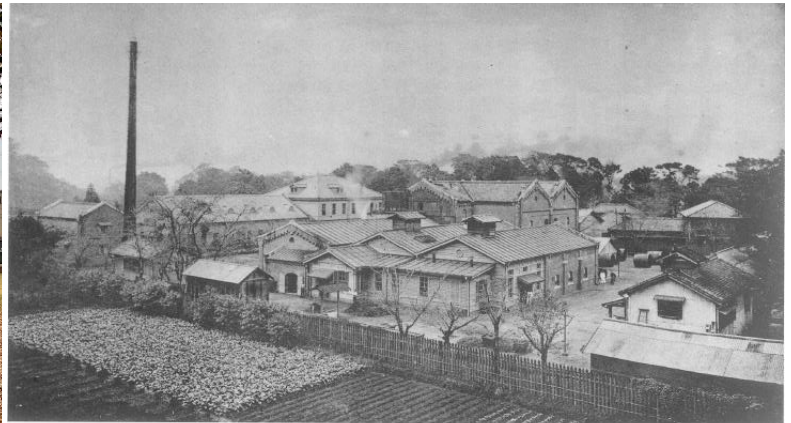
## 《第21回卒業式を無事挙行了たしました。》

3月19日（木）午前10時より、第21回卒業式を挙行了たしました。厳粛に式は執り行われ、148名の卒業生に卒業証書が授与されました。とても感動的な卒業式となりました。ご来賓の代表として北区教育委員会委員の高橋勇一様、伊藤PTA会長よりご祝辞を頂戴しました。在校生を代表して2年生の坂口さんが送辞をおこない、答辞は卒業生を代表して村上さんと河井さんが行いました。送辞も答辞も、大変立派でした。そして卒業生による式歌「旅立ちの日に」（指揮：谷藤さん、伴奏者：サンチャゴさん）、「群青」（指揮：堀江（美）さん、伴奏者：中村（優）さん）、最後に全員で歌った校歌もすべて素晴らしく、感動あふれる素敵な卒業式となりました。本日の卒業式には、ご来賓31名、保護者280名、計311名の皆さまにご参加いただきまして誠にありがとうございました。



【 北区で繋がる渋沢栄一・高峰譲吉・妻木頼黄・長野県芙蓉酒造 】

～旧醸造試験所第一工場(赤煉瓦酒造工場)～



左:旧醸造試験所第一工場  
北区滝野川 2-6-30

右:大正 13 年頃の醸造試験所

【『赤煉瓦酒造工場物語(発行:公益財団法人 日本醸造協会)』より引用】

JR 王子駅から北区役所滝野川分庁舎に向かう途中にある醸造試験所跡地公園には、日本酒造りの近代化に大きく貢献した歴史的建造物として、国の重要文化財に指定されている「赤煉瓦酒造工場」が残っています。正式名称は「旧醸造試験所第一工場」です。この象徴的な赤レンガは、渋沢栄一が生まれ故郷の深谷に設立した日本煉瓦製造会社によって作られたもので、設計は大蔵省の技師であった妻木頼黄(つまきよりなか)が手がけました。妻木が設計した代表建築物には、横浜赤レンガ倉庫、旧横浜正金銀行(現・神奈川県立歴史博物館)があります。また、日本橋の麒麟像をデザインしたことで有名です。妻木が設計した建物で現存するものは少なく、赤煉瓦酒造工場はその一つとして貴重な存在です。妻木は、東京駅や日本銀行本店を設計した辰野金吾、迎賓館や赤坂離宮を設計した片山東熊と並んで、明治の三大建築家と呼ばれています。この3名の建築家は、高峰譲吉と同じく工部大学校(前回紹介)を卒業しています。譲吉は辰野、片山と同級生で、妻木は一つ後輩にあたります。渋沢翁と出会うはるか昔に、虎ノ門にあった大学構内でそれぞれの学問を通して学び合っていたのです。

工部大学校卒業後、それぞれの学科を首席で卒業した特典として譲吉と辰野は同じ船でイギリスに留学しています。この船には、計11名の各学科首席卒業生が同船していました。譲吉は留学した頃から日本の醸造技術は世界に通用するのではと考えており、帰国して農商務省に勤めました。そして明治16年から17年の米国への万博出張前、譲吉が30歳ごろ醸造研究拠点を日本に設けることを農商務省に提唱していましたが、採用はされませんでした。もともと、母方の実家が蔵元であり幼少期から酒造や醸造に馴染み深かった譲吉にとっては、すでに試験場の価値が見通せていたのでしょう。やっとな譲吉の提言が実を結んだのは、明治時代中期になってのことです。

1894年(明治27年)から1895年(明治28年)にかけて勃発した日清戦争、また、1904年(明治37年)から1905年(明治38年)の日露戦争の戦費調達のため、租税収入の確保が急務でした。当時、租税収入はその多くが地租によって賄われ、ついで酒税の割合が高く、明治35年(1902年)には租税に占める酒税の割合が、41.33%と最大に達した時期



でした。そのため、我が国の主要産業である清酒醸造業に課せられる酒税は貴重な財源だったのです。しかし、当時の清酒醸造は経験に基づくものであり、腐造することも多く、そのため理論に裏付けされた近代的な清酒製造技術の確立が求められ、清酒醸造に関わる微生物である麹菌(こうじきん)や酵母に関する研究も行われるようになり、清酒製造技術の改良のための科学的な研究の推進を求める気運が高まってきたのです。こうしてやっとな醸造試験所は、大蔵省の所管となり、醸造方法の研究や清酒の品質の改良をはかることと、講習会により醸造技術や研究成果を広く普及させることなどを目的に、東京都北区滝野川に明治37年(1904)に創立しました。



The Late Mr. Yorinoko Tsumaki,  
Kogakuhakushi, Member, I.F.A.

工學博士 妻木頼黄

【提供 日本建築学会事務局】

このように、飛鳥山を中心とした王子の地域には、王子製紙、印刷局王子と滝野川両工場（現、独立行政法人国立印刷局王子工場と東京工場）もあり、酒造も製紙・紙幣印刷とともに良い水質と水源を求めてこの地に集中したことを物語っています。醸造試験所の創立の翌年には、清酒製造技術の向上のため酒類醸造講習が開始され、明治38年が第1回の開催でした。当時の講習は、定員50名、期間6ヶ月、受講資格は満19歳以上、身体強壯で伝染性疾患のないこととされていたようです。創立時の技師には、讓吉の工部大学校の後輩で、農商務省時代の部下である肥田密三が選ばれています。また、清酒酵母を発見し、醸造試験所設立時の調査委員として活躍し、設立後は醸造試験所初代事業課長に就任した農学博士矢部規矩治（やべきくじ）の銅像が敷地内に建っています。この赤煉瓦酒造工場は、ドイツのビール工場を参考にして、清酒の四季醸造を行うために、当時最新鋭の設備を備えた日本酒醸造施設でした。また、大規模な複合瓦造り建築物として技術的に高い価値があることに加え、日本酒造りの近代化と酒類産業の発展に貢献してきた歴史的価値が認められ、平成26年（2014年）に国の重要文化財に指定されました。赤煉瓦酒造工場は、平成27年（2015年）まで清酒造りの講習等に使用されていました。酒類総合研究所が広島県東広島市に移転した後は、赤煉瓦酒造工場は国に移管され、文化財保護法の規定により公益財団法人日本醸造協会が管理団体に指定されました。



矢部規矩治（やべきくじ）農学博士の銅像



王子桜中の2年生の生徒のみなさんが、「赤煉瓦酒造工場」を訪れ、日本醸造協会の代表理事・会長で農学博士の下飯様から丁寧に説明を受けて見学をさせていただきました。日本酒を造る酵母（清酒酵母）の特徴を遺伝子レベルで解明し、新しい酵母の育種に応用する研究に取り組んでこられた下飯博士から直々にご案内いただき、大変貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

滝野川の赤煉瓦酒造工場について本校学校評議員の安藤様と長岡様にご教示いただきました。そして大変興味深いお話をうかがうことができました。

安藤様のお父様も長岡様のお父様も、創業139年も続く長野県佐久市の造り酒屋芙蓉酒造がルーツであり、北区王子の名家「依田屋酒店」として発展して来られたのです。さらに調べていく中で、長野県佐久市の140年もの伝統を誇る芙蓉酒造の6代目蔵元の依田昂憲（よだたかのり）さんの生き方に大変興味を持ち、ぜひお会いしたいと思ひ、先日、佐久市の芙蓉酒造共同組合を訪ねてきました。



左 安藤様 右 長岡様



長野県佐久市 芙蓉酒造協同組合



依田昂憲さんは、早稲田大学教育学部に入学され、在学中を含め7年間ほど東京で音楽活動に没頭し、インディーズ・レーベルに所属していたこともありましたが、25歳になった頃「ここから先どうするのか」を考え、蔵を継ぐことを決心しました。すぐに故郷に帰ったわけではなく、準備期間にたっぷり2年を割き北区滝野川の醸造試験場で学び、銀座の高級飲食店の仕事で、全国の売れ筋の銘酒を比べて研究を重ねてきました。

昂憲さんの父、方伯(まさひろ)さんは、京都大学を卒業後、北区滝野川の醸造試験場で学び5代目蔵元として、日本酒以外に、焼酎製造もはじめました。各地の特産品で焼酎を造るノウハウとバリエーションは、他の追随を許さないものでした。6代目の昂憲さんは、日本酒蔵としては、普遍性をテーマにした代表銘柄「金宝芙蓉(きんぼうふうよう)」を醸す一方、お父様の作った土台に安住することなく、焼酎の先にある新しい商品をと考えたのが、信州生まれ酒蔵育ち野菜の酢「SURARA」でした。今まで果物の飲む酢はあったが、野菜の酢は新しかったのです。ANA(全日空)の機内食に採用されたり、無印良品の「諸国良品」に取り上げられたりと、大きな注目を集めてきました。日本酒でも「純米吟醸 姫奏」が成果を上げ、「よよいの酔い」や「烈火」など、ユニークな酒もプロデュースしています。

さらに開発独創的な視点と日本の酒造りの伝統が融合した長野県ならではのクラフトジン「YOHAKHU」を作り上げました。日本酒の副産物である酒粕から出来る焼酎を1番のベースに、昂憲さんご自身の足で信州の山に入って集めた長野県の豊かな自然の中で自生している11種の素材(クロモジや熊笹、山椒、ジュニパーベリー、コリアンダー、リンゴ、カルダモン、セージ、アンジェリカルート、リコリス、クローブ)のボタニカルを伝統と経験で凝縮してつくりあげたのです。

昂憲(たかのり)さんにとって、日本酒が海外で評価されているのはとても嬉しいことで、裏を返せば、ジンの文化が日本で受け入れられている事も、ジンを長らく造ってきた人たちからすればきっと同じように嬉しい事だと考えています。だからこそ、ジンの文化とそれを作り上げた先人達にリスペクトを込めて、自分たちにしかできないジンを作ったのです。世界中のみなさんに「YOHAKHU」に込められた長野の風景を感じてもらって、幸せな時間(=余白)を過ごして欲しいと願っています。

昂憲さんが、かつてインディーズ・レーベルに所属し音楽活動をしていた時もそうでしたが、誰もやっていないことに敢えて挑戦し、自分の思いを込めたもので人を幸せにしたいという思いは酒造りにも生きづいているのです。こんな6代目蔵元の依田昂憲さんは、140年もの伝統のある造り酒屋を継承し、変化に適応しながら新たな価値を創造する、真のアントレプレナーと言えるのです。



金宝芙蓉



YOHAKHU